

婦人と子ども

第十八卷
第九號

大正七年九月十日發行

内外に於ける晝間保育の施設狀況に就て

(前承)

——フレーザー會例會講演大要筆記——

内務省囑托 生 江 孝 之

これまでは歐米諸國に於ける保育所のお話をし
て來ましたがこれからは我國に於ける保育所に就
て少しくお話してみませう。

我國には保育所の數が何の位あるかといふに、
五年前には四十六で、これに收容してゐた幼児數
は三千ばかりでありました。現今では保育所の數
は五十に上り、幼児數も三千二百三十五に達して
居ります。五年前、保育所の數が四十六であつた
頃の一年の經費は五萬圓であります。

保育所の一番多いのは大阪でありまして、十二

三あります、次ぎが東京で十、それから神戸が五、
神奈川が二といふことになつて居ります。

我國に於ける保育所の内で一番古いのが東京の
二葉保育園であります。これは確か明治三十三年
の創設であると思ひます。その他の保育所は皆新
しいのであります。明治二十五年から明治三十五
年までの間に出來た保育所が二、明治三十六年か
ら明治四十年までの間に増加した保育所の數が十
二、大正元年から大正六年までの間に増加した保
育所の數が三十二であります。保育所の數が年と

共に増加してゆく傾向のあるのは結構なことであります。

我國にあるすべての保育所の中で八ヶ所だけが嬰兒を取扱ひます。三歳までの乳飲み兒ばかりをあづかる所は未だ一つもありません。近頃大阪にある岡山孤兒院の分院がこの方面に盡して居ります、それは愛染院といふのでありまして、石井十次氏が法人組織にして獨立事業としたのであります。石井氏の歿後は大原孫三郎氏が經營の任に當つて居られます。こゝでは嬰兒のみを取扱つて居ります。嬰兒を取扱ふのは先づこゝだけであります、その他には全くの乳飲み兒ばかりを引受けるといふところはありません。何故さうであるかといふに、これは乳兒の取扱の困難といふことが原因であることは言ふまでもありません。それがためには保姆の數も多くなければなりませんし、産婆的、看護婦的の知識を持つた人も必要となつて來ます。而してその上に何うしても母親として

の經驗あるものが必要となつて來ます。それ故斯る人を得ることが却々困難であります。

日本に於ける代表的の保育所は私の考では神戸の戦役記念保育會と東京の二葉保育園ではなからうかと思ひます。

神戸の戦役記念保育會は神戸市内の四ヶ所に保育所を設けて、二百人ばかりの貧兒を收容して居ります、その内の約四分の一、即ち五十人ばかりは乳兒であります。最も子供の段階はいろいろありまして、乳兒、匍匐兒、幼稚兒に分れて居り、それら各室を異にして居ります。この四つの保育所の内、楠町にある楠町保育所といふのは、所謂特殊部落の中に建てられてゐるのであります。これは日露戦役の際、婦人奉公會が始めたものでありまして、先づ保育所をつくり、母の會なども開いたのであります。奉公會員には知事の奥さん、市長の奥さん、多額納稅者の奥さん等、名流の婦人が澤山出席なさつて、特殊部落と呼はるる、階級

の母親のために親しく膝を交へて、茶を飲み、菓子を食へながらいろ／＼慰めなぞされたのであります。このことはこの部落の人々に非常な感激を與へました。この部落の人々は戦争前までは外部の人々と殆んど交通しなかつたのであります。然るに戦争を機會として、外部の人々がこれらの人々のために、その幼兒を引取りて教育してやつたり、母の會を開いたり、出征者の、家族救助を行ふたりした爲めに、彼等の持つてゐた一種の僻み根性が、全然その影を潜めるに至つたのであります。この部落の出征者が何にも優してうれしく感じたのはその子供の世話をしてくれ、教育をしてくれたといふことであります。それですから戦争が終つてから凱旋した父親達は禮にまはつて歩きましたが物質上の救護を受けるのはあたりまへでも思つてゐるらしく、家族救助の禮を申述べるものは殆んどありませんでした。しかし自分の子が保育所に於て世話されたといふことに對しては

非常によろこびました。父親は皆保育所へ來て保姆の前に頭を下げてお禮を言ひました。戦争に行く時に三歳位だつた子が見違へるやうに大きくなつてゐて「お父さん、おかへり」といふやうなことが言へるやうになつてゐるのですから彼等が悦んだのは當り前であります。彼等の或る者は自分の子をよくして貰つたお禮に物を持つて來たりしました、その呉れる品はつまらないものであつてもその心根が實にうれしく想像されるのであります。

日露戦役の當時、出征者のためにその子供を取つて世話したところは神戸市中に八ヶ所ほどありましたが楠町が一番成功しました。といふのはここが一番多く乳兒を預つて父親達のために一番多くよろこばれたからであります。それ故楠町の保育所はその後引續いて多くの乳兒を預つて居ります。一體権町の附近には花賣りが澤山住んでゐます、彼等は花賣りに出かけるためにその乳兒を

保育所にあづけに、来るのであります。それで中にはまだ生れない内から大きなお腹を保育所に持ち込んで、今に生れたらよろしくお頼み申しますと早くから豫約して行くものもあります。それ故楠町の保育所では襦袢を洗ふのが大變です、朝から晩まで保母長さんも保母さんも皆一緒になつて襦袢の洗濯に忙殺されて居ります。保母さんは各自乳兒を背負ふとか、抱くとかしながら、いろいろ仕事をして居ります。斯んな風な世話もし、されてもゐますので、保母さんと花賣とは、非常に仲がよくなつてゐます、花賣りは自分の家へ来るやうな氣になつて保育所へやつて來ます、而して時々賣れ残りの花などを置いて行つたりします。次ぎには保育所の副業といふことに就て述べてみませう。

保育所はその副業として、貧民地區の家庭の改善、延いてその部落の改善といふことを行ふのであります。貧民の家庭を改善するにはその子供を

通してやることが一番いゝのであります。自分の子供が朝から晩までお世話になつてゐる先生方の言ふことは、貧民達の耳にもよく入るのであります。保育所は以上の如く單に子供を保護し母親を保護して、家計上の助けをするばかりでなく、その家庭を根本から改善しやうと努めるのであります。

保育所で預つてゐる子供は唱歌、遊戯、お話、野外の運動等を行います、又時には恩物を持つて遊ぶこともあります。

關西の保育所は嬰兒と幼稚兒とを一緒に收容します、而して勢ひ乳兒のために大部分の精力を費すために、少し大きい子供はめいゝ々自分勝手に遊ばせて置くだけであります、それ故あまり教育的ではありません。故に是等の子供に對しても教育的に效果あらしめるためには幼稚園に居るやうな保母が必要であります、これは經費の問題もありませんので、さう容易く實行することも出來

兼ねるのであります。關東の保育所では乳兒を取扱つて居りませんから、この問題は起らずに、ただ保姆が幼稚園に於けるよりも稍々繁雜な世話までをしてやるといふことになつてさへ居ればいゝのであります。

東京の二葉保育園は前にも申しました如く明治三十三年の創設であります。これが日本に出來た最初の保育所であります。最もその前に、明治二十五年に新潟市に保育所が開かれたことになつてゐますが、これは名ばかりでありまして、殆んど實は無かつたも同然であります。それ故矢張二葉保育園（始めの名は二葉幼稚園）が日本に於ける第一の保育所であります。二葉の本園は四谷區の鮫ヶ橋といふ部落にあります、内藤新宿の新町といふ所にはその分園がありまして、兩方の幼兒を合せますと、目下三百五十人許に達して居るさうであります。二葉で收容してゐる子供は幼稚園ばかりでありまして、葡萄酒や乳兒は居りません、

それ故内容に於ても普通の幼稚園とあまり變りがありません。野口幽香先生、齋藤みね先生の下に十數人の保姆諸君が献身的に働いていらつしやいます。二葉保育園が出來てから鮫ヶ橋は實によく改善されました。即ち保育所の副目的たる貧民の家庭の改善といふことにも充方盡されたわけなのであります。こゝでは幼兒を大抵朝の八九時頃から午後の四時か五時頃まで預るのであります。神戸の戦役記念保育會は基本金を持つてゐるのであります。二葉には基本金がありません。會員組織になつて居りまして、會員から集めて來た會費その他特志家の寄附金だけによつて、今日の如き實績を擧げてゐるといふことは同園の關係者が如何に熱心にその仕事に携つて居られるかといふことを雄辯に語つて居ります。何でも一人の幼兒のために一日二錢四五厘しかかゝらないさうであり、尤も間食の費用としての一錢は子供が持つて來ます、これにお辨當も子供が持つて來るので

す。土地は御料地を無料で拜借して居りますし、家賃は出ないししますので、それでそんなに尠い費用でやつて行くことが出来るのであります。

次ぎには保育所の特徴及び効果といふやうなことを述べてみませう。

保育所の効果としては先づ乳兒死亡の減少といふことが擧げられませう。乳兒死亡の現象を見ますに、外國では死亡率がすくなくなつて行くのに日本では多くなつて行くのであります、即ち獨逸では初め乳兒の死亡するものが多かつたのであります、今では漸々少くなつて行く傾向にありますが、然るに日本では之に反して初め少かつた死亡率が、漸々多くなつて行く傾向にあるのであります、それで今兩國に於ける乳兒の死亡率は略々同様といふことになつて居ります。しかし同様とは言ひ條、その持つてゐる意味は大いに違ふのであります。それですから乳兒死亡の減少といふことは我國に於て充分に注意を拂はなければならぬ

ことであります。保育所の効果は尙幼兒健康の増進、幼兒智識の開發といふことにあります、これは無論幼稚園程に立派な効果を擧げることには出来ませんが、とにかく家庭で放任して置くよりもすつといふに違ひありません。それから親子愛の持續といふことも保育所の特徴であり、効果でもあります、孤兒院や育兒院に收容されてゐると子供は減多にその親達に會ふことが出来ません、しかし保育所で世話をされる子供は毎晩家へ歸つて寝ますから、長く離れてゐたがために親子の情を薄くしたなどといふことはありません。それから又保育所の盛大になつて行くに連れて育兒院收容兒童の減少といふ現象が生じます、それから尙貧兒の母親をして、十分に働くを得しむるために、家庭収入の増加、貧民の獨立心の助長ともなります。といふのは保育事業は他の事業のやうに全部助けるのでなく、その子供を預かるために、一錢なり二錢なりの月謝様のものを取りますので、貧

兒の親達に自分達は全然他人のお蔭を蒙つてばかりゐるのではないといふ意識を持たせることが出来るのであります、この他人にばかり依つてゐるのではない、多少とも自分で働いてその費用を負担してゐるのであるといふ、この感じが彼等の獨立心を益々助長せしめるのであります。保育所の特徴及び効果といふやうなものは大體以上の如き諸點から考へられると思ひます。

次ぎには保育所の經營に關して申述べます。

保育所の經營には何よりも先づ適當な保母を得るといふことが最必要の問題であります。一體事業といふものは人格の反射したものでありますから、保育所の主任となるべき人は殊に人物であることを要するのであります。殊に保育所の保母は普通の幼稚園保母と違つて、保母であると同時に産婆でなければならぬ、又看護婦でなければならぬのであります。それには相當の給料を支給しなければならぬのであります。保育所の經濟が

なか／＼さう高給を支出するに堪へないのは遺憾であります。

保育所に收容すべき幼兒の年齢の制限は二ヶ月以上六ヶ月以下であります。日本の保育所の現状は亞米利加風でありまして、嬰兒、匍匐兒、幼稚兒を一緒に收容して、こむを別々に取扱つて居ります。一人の保母は幾人位までの子供の面倒を見ることが出来るか、これは皆さんにも御相談して決めていたゞきたいのであります。十五人から二十人位では何うであらうかと思ひます。神戸では、大體右の如き割合で行つてゐるやうであります。乳兒を相手にする場合には斯う澤山では手がまはりかねます、一人の保母が面倒を見ることが出来る乳兒の數は精々五人か六人であり、それでも、チント荷が勝ちすぎる場合がありますから、助手が一人ついて、何うやら斯うやら切り抜いて行くのであります。

保育所に於ける衛生上の注意の忽にすべからざることは言葉を改めて言ふまでもありません、嬰兒までのものには殊に周到な用意を以てするので

あります。

それから保育所では母親の監督といふことを致します。母親が晝寐をしてゐるのにその子供を連れて来て世話をしてやるにはあたりません、これでは母親の怠惰心を養成するやうなものであります。それ故母親が眞によく労働に従事してゐるか何うかを調べる必要があります。それで時々調べてみて、若し母親が遊んでゐるやうなら、之を訓戒し、それで心を改めて働けばよし、依然怠惰にその日を送つてゐるやうならば子供を返して了ふのであります。

最後に希望として申述べたいことは、幼稚園と保育所とが相接近して、互ひに有益な助言を與へ合ふやうにしたいといふことであります。年に一回位づつ、両方の關係者が集會して、互ひに親睦をはかるやうな機會があつたならば随分よからうと思ひます、而して是等の半ば犠牲的の聖職に従事して居られる方々のために、時々慰安の會が開かれるやうになつたならば甚麼に結構なことでありませう。

日本に於ては保育事業は益々發達しなければな

らない状態になつて居ります。細民は今後増せばと言つても減るやうなことはありません。而して細民は自ら向上する力に乏しいものでありますから、他から促してやらなければなりません。保育所は社會組織の缺陷を補ふ重大なる役目を果しつつあるものであります。

保育所の經營者は男子である場合もありますが直接子供に接し、子供を通して細民の家庭に交渉するものは保母、即ち婦人であります。日本の婦人がこの方面の事業に着眼して犠牲的なるこの聖職に就かれる人の一人も多く出て來られることを希望して歇まない次第であります。一つの石を以て二羽の鳥を撃つといふ諺がありますが、保育所の事業は一つの石を以て澤山の鳥を撃つことになるのでありますから、盡力しても甲斐のある仕事であります。どうぞ、幼稚園教育に従事して居る、方々がこの救濟事業たる保育所にも注意を拂はれ、いろ／＼と御聲援下されたいと思ふのであります、尙幼稚園保母として有資格の方々が低きに就かれるのを厭はれずに保育所のために盡されんことを望むのであります。(文責在記者)